

潮来市 教育振興基本計画

2019–2023

概要版

みんなが学び 未来を拓く
潮来の教育・人づくり

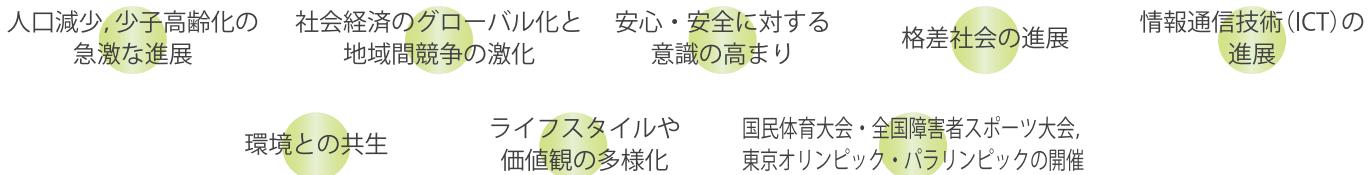


教育振興基本計画とは

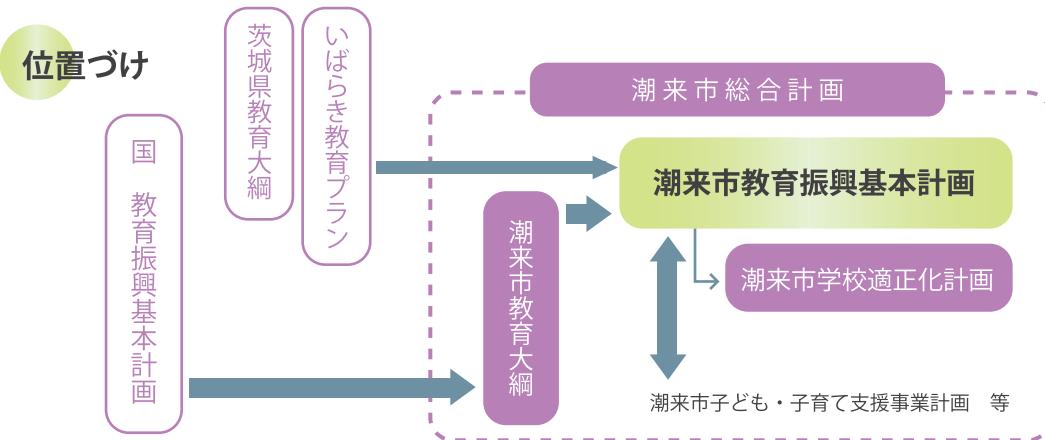
本市は、「自ら学び自ら考える力を育てる教育の推進」「豊かな心と将来への夢をはぐくむ教育の推進」「社会の変化に対応して主体的に生きる力を育てる教育の推進」の3つを教育目標とし、学校教育、生涯学習を推進してきました。

今、全国的に人口減少や少子高齢化が進み、社会・経済情勢は大きく変化しています。教育に求められるニーズが日々多様化・複雑化する中で、子供たちや地域の方が「笑顔」で生活を送れるよう教育施策を充実させ、潮来らしさを生かした魅力ある取組を展開していくことが必要です。

教育施策を巡る動向



そこで幼児教育、学校教育、生涯学習、文化・スポーツ等の分野において、行政・地域・学校等が一体となり、本市教育の振興に関する政策を総合的に推進するための指針として、潮来市教育振興基本計画を策定します。



計画期間

この計画は2019年度から2023年度までの5年間の計画とします。

教育振興基本計画で目指すもの

- 本市が抱える課題と社会変化に適応し、今後5年間の将来を見据えた「めざす教育」を実現するための指針として策定します。
- 本市の教育目標を前提としつつ、第7次潮来市総合計画の策定も鑑み、新たな教育行政施策を盛り込みます。
- 学校教育を中心に、子供・若者の育成、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、地域文化の振興等を含めた教育分野の総合的な計画とし、幼児教育についても、子ども・子育て支援事業計画との連携を図るものとします。
- 子供から高齢者まで全ての市民を対象とし、生涯学び続けることができる環境を目指した計画とします。
- 市民の誰もが、基礎的な学力を身に付けられ、才能や個性を得意な分野で生かし、活躍することを目指す計画とします。
- 水郷潮来の自然環境や地域文化等を生かし、本市にふさわしい特色と魅力ある教育施策を設定します。
- 厳しい財政状況の中にあり、効率的・効果的な教育行政運営を図る観点から、重点課題や特性を見定め、現状にあった適正な計画を目指します。
- 施策の指標を設定し、市民に分かりやすい計画とします。

基本構想

潮来市の現在の状況や、教育を巡る社会動向、課題などを踏まえて、潮来市教育振興基本計画のテーマや基本的な視点を以下のように設定します。

潮来市教育振興基本計画のテーマ みんなが学び 未来を拓く 潮来の教育・人づくり

計画のテーマを実現するため、以下の2つの基本方針に沿って、基本施策や主な事業を立案するものとします。

①未来の潮来を担う子供たちと学び・育む

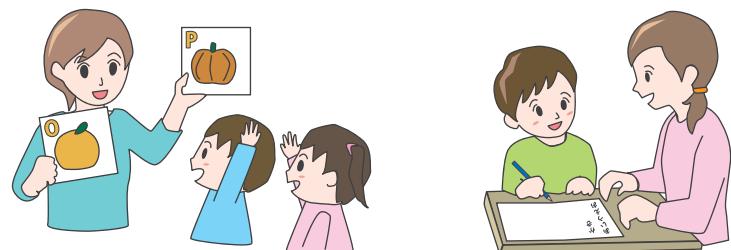
潮来の未来を担う子供たちの健やかな成長を育むためには、就学前教育、学校教育の各段階にあわせて、「知・徳・体」を基本とした基礎的な教育の充実が重要です。このような基礎的な視点を重視しつつ、自主性・自立性を重んじた教育の充実に取り組みます。

また、様々な家庭環境や地域環境に置かれた子供たちが、環境に左右されることなく安心して学ぶことができるよう、学びのセーフティネットの構築に取り組みます。さらに、家庭・学校・地域が連携し、子供たちの自立を促すとともに国際化が進む社会で活躍できる人づくり教育に取り組みます。

基本方針1

未来の潮来を担う子供たちと学び・育む

- 基本施策1 自主性・自立性を育む学校教育の充実
- 基本施策2 安心して学べる環境づくり
- 基本施策3 子供と共に学び育む就学前教育・家庭教育・地域教育の充実



②ふるさと潮来の魅力を学び・育む

今後、人口減少や少子化が進行する中で、地域の人材を有効に活用し、将来も持続的に地域を支えるために、市民が共に学び、共に地域を育む生涯学習活動が重要です。

「市民一人1スポーツ」をスローガンとしたスポーツ活動や、子供向けのサービスを充実した市立図書館など、子育て世代や高齢世代にも楽しめる環境を十分に生かした地域づくりを積極的に推進し、潮来の魅力として発信していきます。

また、潮来は水辺環境に恵まれ、水郷独自の歴史や文化をもって発展してきたまちであり、市民がふるさと潮来の魅力に気づくことが重要です。このため、市民全体が地域の文化や自然環境の価値を深く知り、生まれ育った潮来を学び・体験する教育に取り組みます。

基本方針2

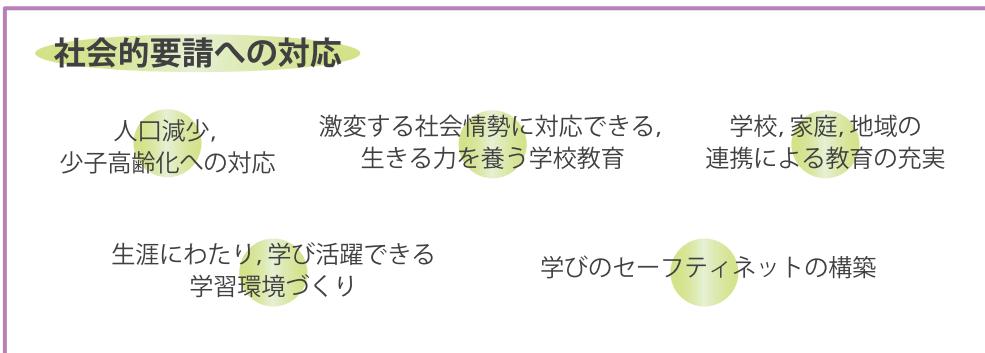
ふるさと潮来の魅力を学び・育む

- 基本施策4 生きがいをもち活躍できる生涯学習活動の推進と学習環境づくり
- 基本施策5 健康長寿を支えるスポーツ・レクリエーションの振興
- 基本施策6 郷土の誇りとなる潮来文化の創造・継承



計画の体系

【潮来市の教育環境を巡る課題】



潮来市教育振興基本計画

【計画のテーマ】

みんなが学び 潮来の教育・人づくり 未来を拓く

■潮来市の教育を巡る課題の整理

(1) 就学前教育における課題

- 保育ニーズの高まりに対応した幼児教育・保育環境のあり方
- 小学校へのスムーズな移行、小中学校と連携した教育

(2) 学校教育における課題

【学校教育】

- 表現が苦手な子供たちに対する自主性・自立性が必要
- 悩みや不安をもつ子供への早期発見・早期対策
- 教職員の業務の軽減、授業や子供と向き合う時間が必要
- 潮来の子供や若者が住み続けたいと思える郷土愛が必要

【学校の規模、教育環境】

- 子供の減少や今後のまちづくりを見据えた学校の適正化
- 教育施設の長期的な視野での利活用計画が必要

(3) 青少年育成、家庭教育における課題

- 学校に求めすぎない家庭での教育
- 地域全体での家庭教育の支援や充実が必要
- 子供や青少年を取り巻く情報化等に対応した育成が必要

(4) 生涯学習における課題

【生涯学習活動】

- 市民ニーズの多様化、市民が真に主体となる活動が必要
- 地区組織の弱体化の懸念、次世代のボランティア意識が必要

【スポーツ・レクリエーション活動】

- 人口減少や高齢化に対し誰もが楽しめるスポーツ普及が必要
- スポーツによる地域振興に期待(水辺環境の活用、茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進)

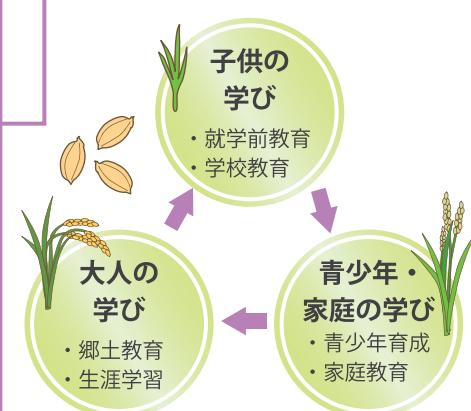
【図書館活動】

- 文庫で層への魅力あるアピールに向けた市立図書館の子供向けサービスや学校との連携の更なる充実が必要
- 生涯学習の拠点の一つとしての交流活動の充実と拡大を期待

【地域文化・芸術活動】

- 文化財や郷土資料、郷土芸能を担う人の育成、経費確保が必要
- 子供だけでなく大人を含めた郷土文化への理解が必要

学びの持続・継承



【基本計画】

基本
方針 1

未来の潮来を担う
子供たちと学び・育む

基本施策

基本
施
策
1

自主性・自立性を育む
学校教育の充実

基本
施
策
2

安心して学べる環境づくり

基本
施
策
3

子供と共に学び育む
就学前教育・家庭教育・
地域教育の充実

主な取組

- 1 確かな学力を育む質の高い教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 激変する社会で活躍できるたくましい人材の育成
- 5 教職員が働きやすい環境づくり

1 教育支援環境の充実

- 2 より良い学習環境を持続するための学校適正化や学校連携の推進
- 3 学校施設や通学等の安全対策の充実
- 4 学習機会の提供と支援体制の充実
- 5 学校給食を生かした食育と食の安全対策

- 1 人格形成の基礎を培う就学前教育の充実
- 2 親の学びの支援と家庭の教育力の向上
- 3 時代に即した青少年育成活動の推進
- 4 学校と地域との連携による教育環境の充実

基本
方針 2

学び・育む
ふるさと潮来の魅力を

基本施策

基本
施
策
4

生きがいをもち活躍できる
生涯学習活動の推進と
学習環境づくり

主な取組

- 1 市民のライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 2 生涯学習やまちづくりを牽引する人材の育成と学習成果の活用
- 3 生涯学習の拠点となる公民館や市立図書館等の充実
- 4 情報通信技術による生涯学習活動の活性化

1 「市民一人1スポーツ」の推進

- 2 潮来らしさを生かしたスポーツ・レクリエーションの振興
- 3 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興
- 4 スポーツ・レクリエーションを支える環境の充実

- 1 文化活動を活性化する文化・芸術活動の振興
- 2 潮来の誇れる伝統文化の保存と次世代への継承
- 3 水郷を生かした文化交流の促進
- 4 文化・芸術活動を支える環境の充実

【基本計画】

計画のテーマや2つの基本方針に沿って、6つの基本施策を設定します。

下線部は重点的な取組

【基本施策1】自主性・自立性を育む学校教育の充実

将来の潮来市を担う子供たちに対し、自主性・自立性を育む教育を充実します。

子供たちが健やかに成長できるよう「知・徳・体」を基本とした教育を推進しながら、グローバル社会やIT社会に対応できる人材の育成、豊かな体験、経験づくりを推進し、質の高い教育を提供します。

また、潮来市の子供たちの素直さや素朴さを生かしつつ、積極的な発言力や表現力を身につけられるよう、あらゆる分野で主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れた教育を推進します。

さらに、学校教育の充実を図るため、教職員の働きやすい環境づくりを進めます。



主な数値目標

指標	基準値(2017)	目標値(2023)
茨城県学力診断のためのテストにおける全学年、全教科の県の平均正答率	県平均を上回らない学年、教科がある	県平均を全学年、全教科で上回る
中学生海外派遣生徒数(累計)	0人	120人

主な取組

1 確かな学力を育む質の高い教育の推進

- ・1-1-1 基礎的な学習の充実
- ★1-1-2 子供の自主性・自立性の育成
- ・1-1-3 算数・数学教育の充実
- ・1-1-4 特別支援教育の推進

2 豊かな心を育む教育の推進

- ★1-2-1 道徳教育の充実
- ・1-2-2 人権教育の充実
- ・1-2-3 読書活動の推進
- ・1-2-4 メンタルヘルスケアの推進

3 健やかな体を育む教育の推進

- ・1-3-1 運動・スポーツによる体力・運動能力の向上
- ・1-3-2 ポート教育の充実
- ・1-3-3 健康教育の充実
- ・1-3-4 食育の充実

4 激変する社会で活躍できるたくましい人材の育成

- ★1-4-1 國際化教育の充実
- ★1-4-2 情報教育の充実
- ・1-4-3 自然環境を活用した環境教育の推進
- ・1-4-4 キャリア教育、職業教育の推進

5 教職員が働きやすい環境づくり

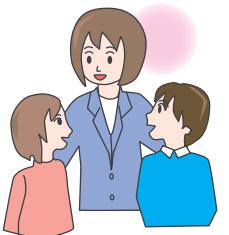
- ・1-5-1 教職員の資質・指導力向上
- ・1-5-2 地域人材・外部人材の活用推進
- ・1-5-3 学校運営の効率化の推進
- ・1-5-4 教職員の働き方改革、負担軽減

【基本施策2】安心して学べる環境づくり

子供たちを取り巻く様々な状況に配慮し、安心して学べる環境づくりを進めます。

子供のいじめや不登校等の課題に対し、適切に対応できるよう教育支援環境の充実を図るとともに、子供たちのより良い学習環境を持続していくために、適正な規模や環境を確保するための学校適正化や学校連携を推進します。

また、学校施設等の安全対策や家庭の経済的状況等に配慮した学習支援体制の充実、学校給食を活用した食育などにより、様々な状況下におかれたり児童・生徒が等しく学べる環境づくりに取り組みます。



主な数値目標

指標	基準値(2017)	目標値(2023)
地域と連携した通学路点検等を行った学校の割合	60.0%	100.0%
学習支援事業を利用する児童生徒数の割合 (※児童は小学校4年生、生徒は中学校1年生)	小学校：19.2% 中学校：13.0%	小学校：21.1% 中学校：14.3%

主な取組

1 教育支援環境の充実

- ・2-1-1 教育相談体制、未然防止策の充実
- ・2-1-2 いじめ・不登校対策の充実

2 より良い学習環境を持続するための学校適正化や学校連携の推進

- ★2-2-1 学校適正化の推進
- ・2-2-2 学校連携の推進

3 学校施設や通学路の安全対策の充実

- ★2-3-1 学校施設の安全対策の推進
- ・2-3-2 通学の安全対策の推進
- ・2-3-3 学校防災体制の強化

4 学習機会の提供と支援体制の充実

- ★2-4-1 経済的支援体制の充実
- ★2-4-2 学習支援体制の充実

5 学校給食を生かした食育と食の安全対策

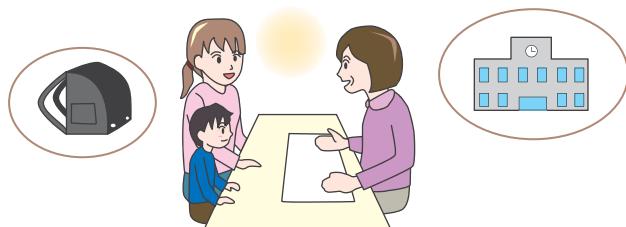
- ★2-5-1 学校給食センターの充実
- ・2-5-2 食育による安全対策の充実

【基本施策3】子供と共に学び育む就学前教育・家庭教育・地域教育の充実

子供たちの能力を発揮できる環境をみんなでつくるという意識をもち、就学前教育、家庭教育、地域教育を充実します。

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成を決定づける重要な時期であり、遊びや他者との交流、様々な体験を通して、心豊かに成長できるよう就学前教育の充実を図ります。

また、時代の変化と共に、生活形態が変化し、家庭教育の低下が危惧されている中で、安心して子育てができるように、学校と家庭と地域の教育力を活かした家庭教育の推進や地域教育の推進を図ります。



主な数値目標

指標	基準値（2017）	目標値（2023）
就学支援相談件数 (相談体制の充実)	126件	155件
家庭教育学級参加者数	1,041人／年	1,500人／年

主な取組

1 人格形成の基礎を培う就学前教育の充実

- 3-1-1 就学前教育環境の提供
- 3-1-2 幼児期からの情操教育の充実
- ★3-1-3 小学校教育との円滑な接続
- 3-1-4 配慮が必要な子供への支援

2 親の学びの支援と家庭の教育力の向上

- ★3-2-1 家庭教育の推進、親の学びの支援
- 3-2-2 子供の居場所づくり

3 時代に即した青少年育成活動の推進

- 3-3-1 青少年健全育成の啓発と社会情勢に対応した活動の推進
- 3-3-2 青少年の社会参加、ボランティア機会の充実
- 3-3-3 青少年相談体制の充実

4 学校と地域との連携による教育環境の充実

- 3-4-1 地域による学校運営の支援体制づくり
- ★3-4-2 遊びや社会体験活動を通じた学びの充実
- 3-4-3 国際理解の推進

【基本施策4】生きがいをもち活躍できる生涯学習活動の推進と学習環境づくり

市民が生きがいをもって積極的に活躍するため、生涯学習活動を推進します。

市民が自分の特性やライフステージに応じて必要なスキルを身につけることができるよう、ニーズに即した生涯学習機会の提供を図ります。

また、市民主体の生涯学習活動への転換に向けて、リーダーとなる人材の育成や学習成果の活用、地域ボランティア活動の促進を図ります。

さらに、中央公民館や地区公民館、市立図書館等の生涯学習を支える拠点機能の充実や、各生涯学習施設が相互に連携し、市民の学びや交流を活性化する学習環境づくりを進めます。



主な数値目標

指標	基準値（2017）	目標値（2023）
公民館の利用者数 (※地区公民館含む ※体育施設を除く)	94,603人／年	99,300人／年
図書館来館者数 (※電子図書館含む)	203,296人／年	215,000人／年

主な取組

1 市民のライフステージに応じた生涯学習機会の充実

- 4-1-1 市民の学習意欲の向上や生涯学習情報の提供
- ★4-1-2 市民のライフステージに応じた多様な学習機会の充実

2 生涯学習やまちづくりを牽引する人材の育成と学習成果の活用

- 4-2-1 生涯学習や地域活動のリーダー育成・支援
- 4-2-2 学習成果を生かす場や成果を活用するための仕組みの充実
- 4-2-3 地域ボランティア活動の促進
- ★4-2-4 多様な人材や情報のネットワーク形成

3 生涯学習の拠点となる公民館や市立図書館等の充実

- 4-3-1 生涯学習活動拠点となる公民館の充実
- ★4-3-2 市民の学習活動を支える潮来らしい市立図書館の運営
- 4-3-3 生涯学習施設相互の連携

4 情報通信技術による生涯学習活動の活性化

- 4-4-1 情報通信技術を活用したサービスの提供
- 4-4-2 情報活用力に関する学習機会の提供

【基本施策 5】健康長寿を支えるスポーツ・レクリエーションの振興

健康長寿の地域づくりを目指し、潮来市の特色を生かしたスポーツ・レクリエーションを振興します。

市民一人一人が健康でいきいきと活躍できるよう生涯スポーツを推進するとともに、より多くの人がスポーツ・レクリエーションを楽しみ、誰もが社会と関わりを持てるような環境づくりを進めます。

また、潮来らしさを生かしたスポーツを推進するとともに、茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興や交流を積極的に進めます。



主な数値目標

指標	基準値(2017)	目標値(2023)
学校開放事業による利用者数	92,276人/年	94,000人/年
ボート教室参加者数	306人/年	320人/年

主な取組

1 「市民一人1スポーツ」の推進

★5-1-1 生涯スポーツの推進

- 5-1-2 ニュースポーツや障がい者スポーツ等への取組
- 5-1-3 スポーツを生かした教育、人材の育成

2 潮来らしさを生かしたスポーツ・レクリエーションの振興

★5-2-1 水辺環境を生かしたウォータースポーツ・レジャーの振興

- 5-2-2 自然や歴史環境を生かした健康づくりの推進
- 5-2-3 サッカー交流を活用した地域づくりの推進

3 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

★5-3-1 茨城国体を契機としたスポーツ振興

- 5-3-2 ホストタウン活動の推進
- 5-3-3 大会後の交流活動の推進

4 スポーツ・レクリエーション活動を支える環境の充実

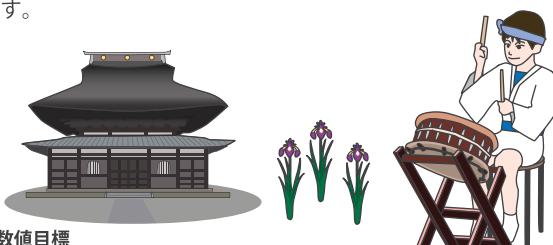
- 5-4-1 スポーツ施設の維持管理や整備充実
- 5-4-2 施設の有効活用

【基本施策 6】郷土の誇りとなる潮来文化の創造・継承

未来を担う子供や若者が潮来に生まれたことを誇りに思い、将来的には潮来に定住・定着してもらうため、潮来文化の創造と継承を図ります。

潮来市に存在する指定文化財や伝統芸能を後世に永く伝えていくため、適切な維持・保存を図るとともに、体験や継承活動の支援等を進めます。また、学校と地域が連携して郷土教育を推進し、子供たちや保護者等が地域文化への理解を深められるよう努めます。

また、潮来の新たな魅力を創造するための文化・芸術活動を推進するとともに、水郷の地域資源や特色を生かした文化交流活動を進めます。



主な数値目標

指標	基準値(2017)	目標値(2023)
市民文化祭参加者数	1,039人	1,100人
ふるさと教材等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っている学校の割合	33.0%	100.0%

主な取組

1 文化活動を活性化する文化・芸術活動の振興

★6-1-1 文化・芸術活動の振興

★6-1-2 文化・芸術の担い手の育成

2 潮来の誇れる伝統文化の保存と次世代への継承

★6-2-1 文化財等の保存・継承

- 6-2-2 デジタルアーカイブの構築
- 6-2-3 学校と地域が連携した郷土教育の推進

3 水郷を生かした文化交流の促進

- 6-3-1 水郷文化の魅力発信・向上

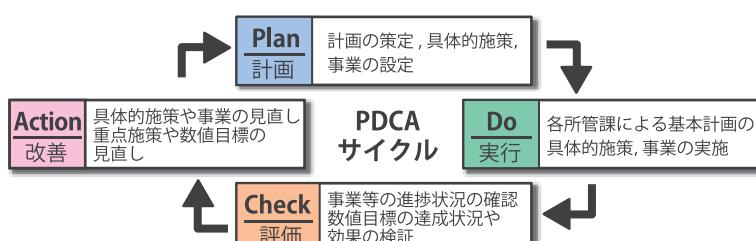
- 6-3-2 水郷の歴史・文化資源を生かした文化交流の促進

4 文化・芸術活動を支える環境の充実

- 6-4-1 水郷まちかどギャラリーの充実

- 6-4-2 市立図書館、公民館などを活用した文化・芸術活動の推進

本計画の進行管理



©潮来市

潮来市教育委員会

〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
TEL/0299-63-1111(代表) FAX/0299-62-3384